

# 令和4年度 自己評価(保育教諭)

「人権擁護のためのセルフチェックリスト」を実施後、下記の項目について「自分たちの保育はどうか？」と職員間でふりかえりを行う。

## 人権擁護のためのセルフチェックリスト

### (1) 子ども一人ひとりの人格を尊重しないかかわり

登園時	朝、母親に抱かれて、なかなか離れられない子どもに「ずっと抱っこしてもらっていると恥ずかしいよ」と言葉をかける。
日中	製作活動で子どもが描いた作品をみて、「そこ違うよ。もう一枚描いてみる？」とだけ言って、描きなおすように働きかけた。
	排泄の失敗への対応をその場で رفتり、周囲に知らせたり、その失敗を責める言葉がけをする。
	子どもが、友だちをたたく等、良くないことをした際に、執拗に責めるような言葉がけをする。
昼食時	子どもが保育者に話しかけた際、「いま忙しいから後にして」と言う。
	苦手なことを渋っている子に、「早くやっ。できないなら後ろに行つて。」と言つたり、他者と比較したりなど、否定的な言葉がけをする。
	食事の際、こぼす等の理由で、テーブルに給食のメニューをすべで配膳せず、食べたらずのおかずをあげる。または、こぼすたびに叱りながら食べさせる。
降園時	お迎えに来た保護者に「A君は、今日はケンカをしてお友だちを泣かせてしまいました」と、他の保護者にも聞こえるように言う。
その他	子ども同士のトラブルが起きたとき、子どもたちの言い分を聞かず、一方的に判断を下す。
その他	自分から訴えてトイレに行くことができるようになった子どもに対して、「おしっこ出来ない」と訴えていても、トイレに行くように促す。

### (2) 物事を強要するようなかかわり・脅迫的な言葉がけ

日中	集団行動をするための言葉がけをした際、言葉がけを聞かない子どもに「〇〇しないなら〇〇できないからね」と言葉をかける。
昼食時	ごはんをこぼした子どもに対して、床に落としたものを拾って食べるように促す。また、ほかの子どもが大勢いる前でそのことを指摘する。
午睡時	なかなか寝つけずにいる子に「早く寝てよ。あなたが寝ないと仕事が出来ないんだよね」と言う。
	寝ずに話している子どもに対して、外で寝るように言つたり、布団を友だちの布団と離して敷いたりする。
その他	どなつたり、「〇〇しなさい」との言葉や子どもが怖がるもの(鬼等)を使つたりして、子どもを保育者の思いどおりに動かそうとする。

### (3) 罰を与える・乱暴なかかわり

日中	子どもの人数チェックをする際、子どもの頭を手ではたくようにして人数を数える。
	並ぶときなどに、子どもの自発的行動を待たず、腕を掴んで引張る。
午睡時	子どもを注意する際に、「だめよ！」と言つて子どもの手を叩く。
	なかなか眠らない子どもに布団を頭からかぶせるなどして強引に押さえつけ、パンパンと強く布団を叩く。
その他	保育者が子どもに注意をしたが、言うことを聞かなかった子どもに対し、廊下に立たせる、散歩に行く際に置いて行こうとするなどの罰を与える。

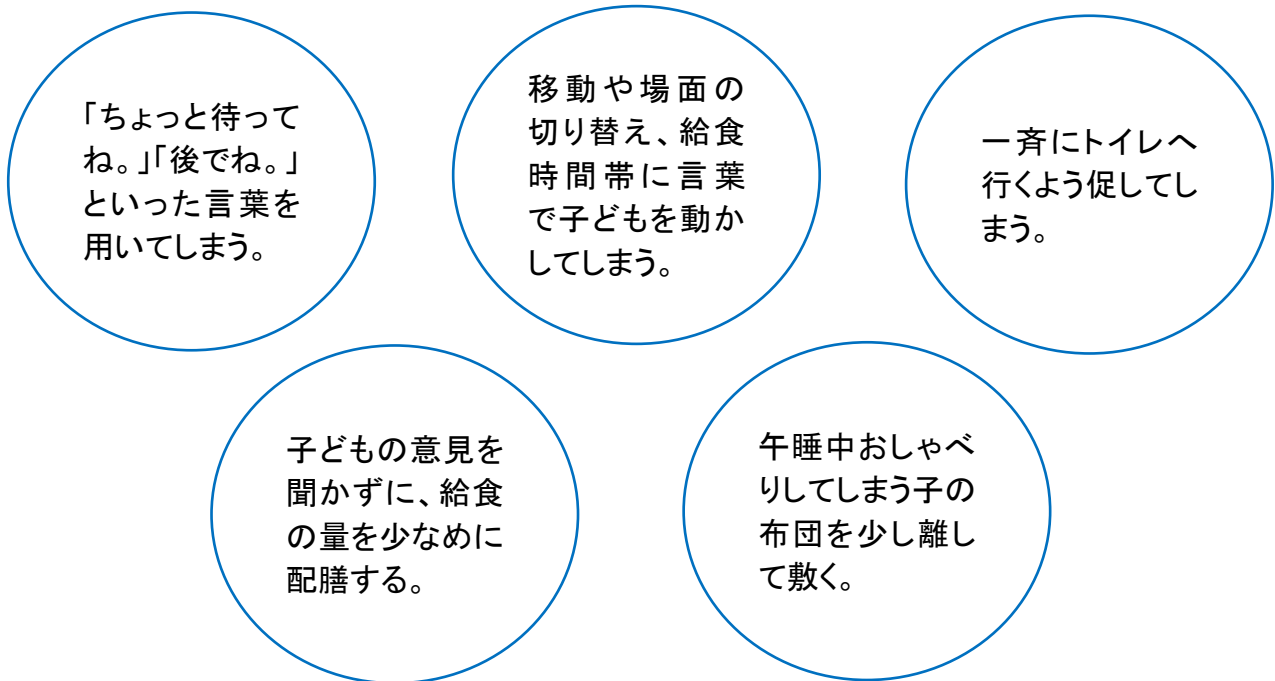
### (4) 一人ひとりの子どもの育ちや家庭環境を考慮しないかかわり

降園時	いつも時間ぎりぎりのお迎えになる子どもに対して、「〇〇ちゃんのお母さん、今日も遅いね」と言う。
その他	登園が遅い、服が汚れている、お風呂に入っていない、提出物の遅れ等の際に、子どもに「また〇〇君のお母さん 忘れたの。いつも忘れて困るね。」や「昨日お風呂に入れてもらわなかったの。」など否定的な言葉がけをする。
	いつもぎりぎりの時間にお迎えにくる保護者に「いつもぎりぎりですね」と言つたり、保護者が提出物を忘れた際に「いつも忘れて困ります」と言つたりする。
	「お休みの日にどこに行つたかお話して」との問いかけについて、クラスの子どもたち『全員』に発表してもらう。

### (5) 差別的なかかわり

登園時	挨拶をしてきたか否かにかかわらず、特定の子どもにだけ「おはよう」と言葉がけをする。
日中	いつまでも泣いている男の子に、「男の子だからいつまでも泣かないよ」や、乱暴な言葉使いをする女の子に「女の子だからそんな言葉を使つたらいけない」と注意する。
昼食時	少食の子に対して、子どもの意見を聞かず、初めから非常に量を少なくして配膳する。
午睡時	寝かしつける際に、いつも同じ子どものそばにばかりつく。
降園時	クラス全員で帰りの支度をしている時に、なかなかできない子どもに、「〇〇ちゃんは早くできないのね、だめな子になつちゃうよ」と言う。

## 【振り返りから見えてきた課題】



○行事の前や先生自身の体調や気持ちにゆとりが欠けているといった時に、大人都合の対応をしてし

まうことがある。

○子どもにとって良かれと思つての対応も、振り返ってみると保育者の思いや都合が優先していること

が多かつた。

○子どもの気持ちを尊重しようと思えばおもうほど「受け入れる」と「受け止める」が混乱してしまい、対応に迷いが生じるとも感じた。

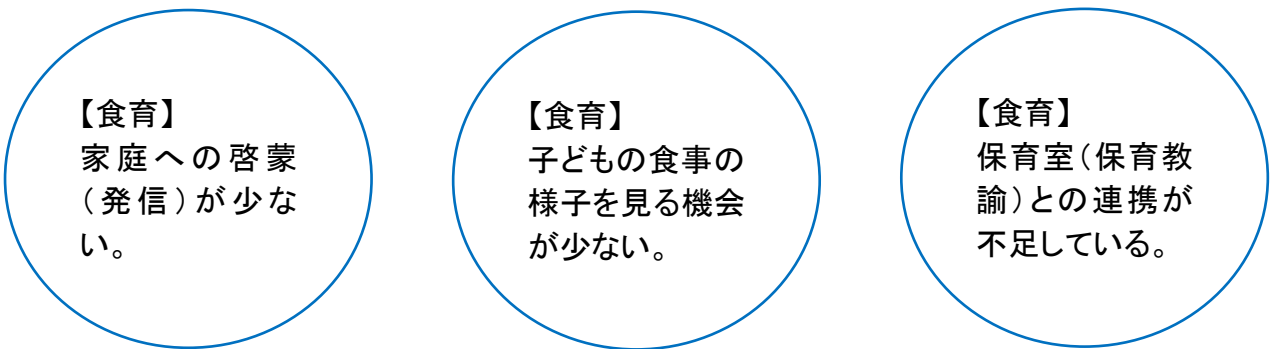
## 【これからは？】

- 「子どもファースト」を心掛ける。そうでない場面を目撃した場合、声を掛け合えるような関係性を築く。(職員同士)
- 子どもの声に対し、「〇〇が終わったら行くな。」など受け止める言葉を大切にする。
- 一人で対応せず、困ったら周りの職員へ助けを求める。(職員間のコミュニケーション)
- 大人都合の対応をしない。(時間の使い方を工夫する 等)
- 「チェックリスト」や「園内研修」等を活用しながら、自分の保育を振り返る場を設ける。

# 令和4年度 自己評価(給食室)

アレルギー疾患	1	アレルギー疾患のある子どもに対して、アレルギー対応ガイドラインを読んでいますか。
	2	アレルギー疾患のある子どもに対して、アレルギー疾患ガイドラインにもとに、子ども状況に応じた適切な対応をしていますか。
	3	慢性疾患等のある子どもに対して医師の指示の下、子どもの状況に応じた適切な対応を行っていますか。
	4	保護者との連携を密にして、園での給食を提供していますか。
	5	アレルギー食を作る際、その日の担当決め、打ち合わせを密に行っていますか。
	6	配膳の際、誤食を避けるため、お互いに声をかけあいながら行っていますか。
	7	配膳プレートは、数人で確認合っていますか。
	8	給食についての話し合いを給食担当者間でよくしていますか。
	9	アレルギー疾患、慢性疾患等についての研修会には進んで参加していますか。
	10	それぞれの役割を把握し、適切な動きができていますか。
食育	11	食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫していますか。
	12	食器の材質や食材の形などに配慮していますか。
	13	個人差や食欲に応じて量を加減していますか。量を加減できるように工夫していますか。
	14	旬の物や季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしていますか。
	15	子どもが食について関心を深めるための取り組みを行っていますか。
	16	家庭を巻き込んだ上で、マナーが楽しく身に付くような工夫をしていますか。
	17	一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した献立・調理の工夫をしていますか。
	18	子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握していますか。
	19	残食の調査を記録や検食簿にまとめ、献立・調理の工夫に反映していますか。
	20	季節感のある献立となるよう配慮していますか。
	21	地域の食文化や行事食などを取り入れていますか。
	22	調理員・栄養士等が給食の様子を見たり、子どもの話を聞いたりする機会を設けていますか。
	23	衛生管理の体制を確立し、マニュアルに基づき衛生管理が適切に行われていますか。
24	給食がより良くなるために、積極的に保育教諭と連携を図っていますか。	
研修	25	実践研究に取り組み、日常の給食業務に活かし、子どもの育ちに反映させていますか。
	26	研修報告は必要に応じて職員間で共有・報告をしていますか。
	27	研修会に出席し、感じたこと、良いことは給食業務の中に取り入れていますか。
保護者支援 地域支援	28	給食職員で、保護者支援ができるアイデア(取り組み)を考えていますか。
	29	給食職員で、地域支援ができるアイデア(取り組み)を考えていますか。
	30	園内で行っている「地域支援」「子育て支援」の内容を理解していますか。(給食関係 以外で)
働き方改革	31	「出勤時間＝業務開始時間」が守られていますか。
	32	休憩後、速やかに業務に戻っていますか。(時間厳守)
	33	勤務終了時間後、15分以内に退勤していますか。
	34	時間にけじめをつけて仕事をしていますか。
会議	35	議題については事前に自分の考えをまとめた上で会議に参加していますか。
	36	会議の中で自分の意見や考えを述べていますか。

## 【グラフから見えてきた課題】



○コロナ禍ということもあり、園児との直接的な関わりを持つことが難しい現状だった。

○厨房職員体制の変更があった。

## 【これからは?(目標)】

- 離乳食についての会議を定期的実施する。(保育室との連携不足の解消)
- 安心・安全な給食作りの継続。
- 子どもの食事の様子を定期的に見る習慣作り。(園児との関わり)
- 子どもと一緒に食事の場を共有する。(園児との関わり)